

## アラブのIBM 特にインシャー・アッラーについて

大平 一昭 (JECK会員)

アラブ圏でビジネスを行う場合に、しばしば「アラブのIBM」に悩まされます。この場合のIBMはBig BlueといわれるInternational Business Machines Corporationではなく、アラビア語の「I」インシャー・アッラー（神の思し召しがあれば、神のみぞ知る）、「B」ブクラ（明日、スペイン語のhasta manianaに近いニュアンスで用いられる）、「M」マレシ（気にするな no problem）の3語の頭文字を並べたものです。

私も、JICAの専門家として、サウジアラビアの、Saudi Arabia Standard Organization（日本の工業技術院に相当）で、包装研究所設立の支援をしたときに、インシャー・アッラー（私には、イン・シャラーと聞こえました。）に悩まされました。



実例で説明しましょう。

カウンターパートに、3日後までにプロジェクトの実行スケジュールを作るように依頼したとします。

彼は、OKと返事して、最後に「インシャー・アッラー」と加えます。

当日になってもスケジュールは作成されていません。彼が作成することを忘れても、インシャー・アッラーで、神の思し召しが無かったからなのです。彼の責任ではありません。そして「明日（ブクラ）までに作る。マレシ」と片付けられてしまいます。そして、明日になっても同じことが繰り返されます。

私の場合は、インシャー・アッラー以外は、tomorrow, no problemと英語が使用されました。

インシャー・アッラー以外の言い訳は、東南アジア等でも日常茶飯事に使われているので、ある程度慣れていましたが、回教国独特のインシャー・アッラーには悩まされました。

このように書くと、アラビア人が怠惰であるように感じたかもしれませんが、必ずしもそうではありません。回教徒である彼等は、未来は「神のみぞ知る」世界であり、人間が関与するべき問題ではないという宗教観を持っているようです。そういう思想の人は、「スケジュール作成」のような未来に関する事は初めからやる気はありません。

しかし、「心優しい」私のカウンターパートは、頭から否定せずに、当日まで何もしなかったのでしょうか。少なくとも彼は、スケジュールを作成し、そのスケジュールに基づいて業務を進行させるという我々の手法は認めていません。神への冒瀆と感じられたのかもしれませんが。

このことに気が付いたのは、着任2週間後です。

サウジアラビアで、PERT-Timeのようなプロジェクト管理手法を使うことは、困難だと思います。

任地の首都リアドから調査のために商工業都市のジェッダへ出張した時も同じようなことがありました。カウンターパートに、SABIC社（サウジアラビア有数の石油化学工業会社、特に包装材料用のポリオレフィン樹脂のサプライヤー）を含む、印刷会社、コンバーター、ユーザー等とのアポイントメントを取るように依頼しました。また、インシャー・アッラーと最後に付け加えられました。

サウジアラビアでは、紹介者無しにBusiness Interviewは出来ません。彼の人脈、血縁等に期待したのです。また、日本人の常識としては、Saudi Arabia Standard Organizationの名前を出せば、どんなところもアポイントメントを取ることは可能とっていました。

出張3日前に、アポイントメントの状況を聞きましたがはっきりしません。問い詰めると「現地で、電話して取る。事前の予約は無意味」と返事されました。

ご存知のように、専門家が任地を離れる時は、現地JICA事務所への届出が必要です。このような状態なので、訪問先名称を未確認のまま出張届けを提出しました。

いざ、出張してみると当日の朝になってから、電話でアポイントメントを取っていました。「あれほど頼んでおいたのに」と不満もありましたが、どうにか必要な調査は済ませました。

後で聞くと、西欧のように事前にアポイントメントを取る商慣習はないと言っていました。



このように、インシャー・アッラーには、悩まされました。

しかし、3ヶ月という短期派遣で所定の成果を出すためには、スケジュール化した進行管理が必要です。そこで、「私は異教徒であるから、（インシャー・アッラーに無関係で）スケジュールに従ってプロジェクトを進行させる。貴方をスケジュールで拘束しないが協力してもらいたい。プロジェクトがスケジュール通り進行しないと、カウンターパートである貴方が困ることになる。」と説得し、実質的にスケジュールに従ってプロジェクトを進行させることができました。

会員の皆様の中で、インシャー・アッラーをうまく解決できた方があれば教えてください。